

6 - 3 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果(2000年11月～2001年4月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (November, 2000-April, 2001)

産業技術総合研究所

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

1. 観測概要

産業技術総合研究所は長野県西部地域(王滝地域), 跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。王滝地域では2000年5月7日より歪, 傾斜計が故障のため観測不可能となっている。

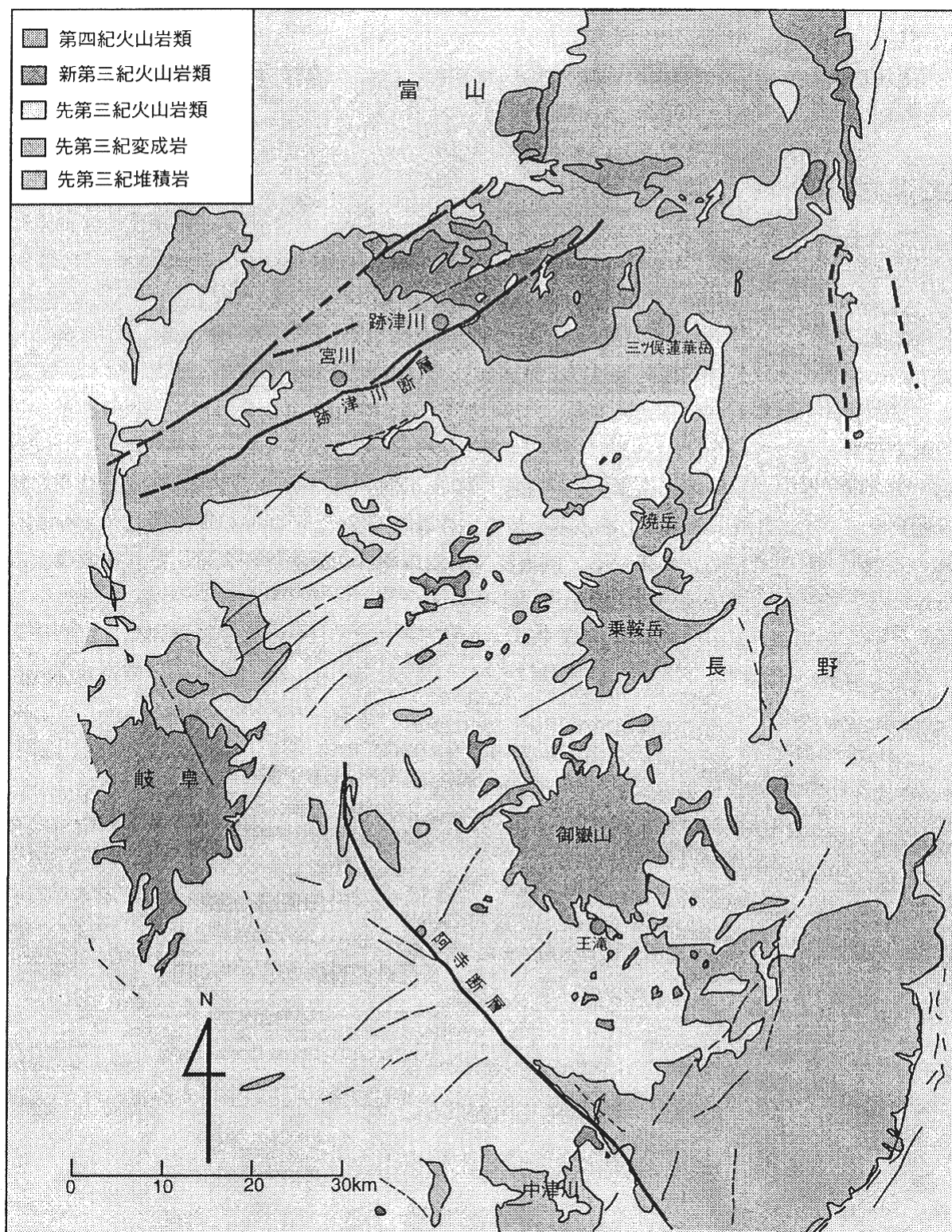
宮川: 跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。また, 深度256.78～267.66mの滞水層にストレーナーを設置し, 地下水位の計測も行っている。高周波での地震計の共振が無いよう, 計器を改良した。計器中に, 歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

跡津川: 跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計を設置。また, 地下水位の計測も行っている。計器中に, 歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

2. 長期(6カ月)観測結果概要

宮川(第2図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。2001年3月下旬からの水位の上昇, 歪の異常な振る舞いは例年見られる。

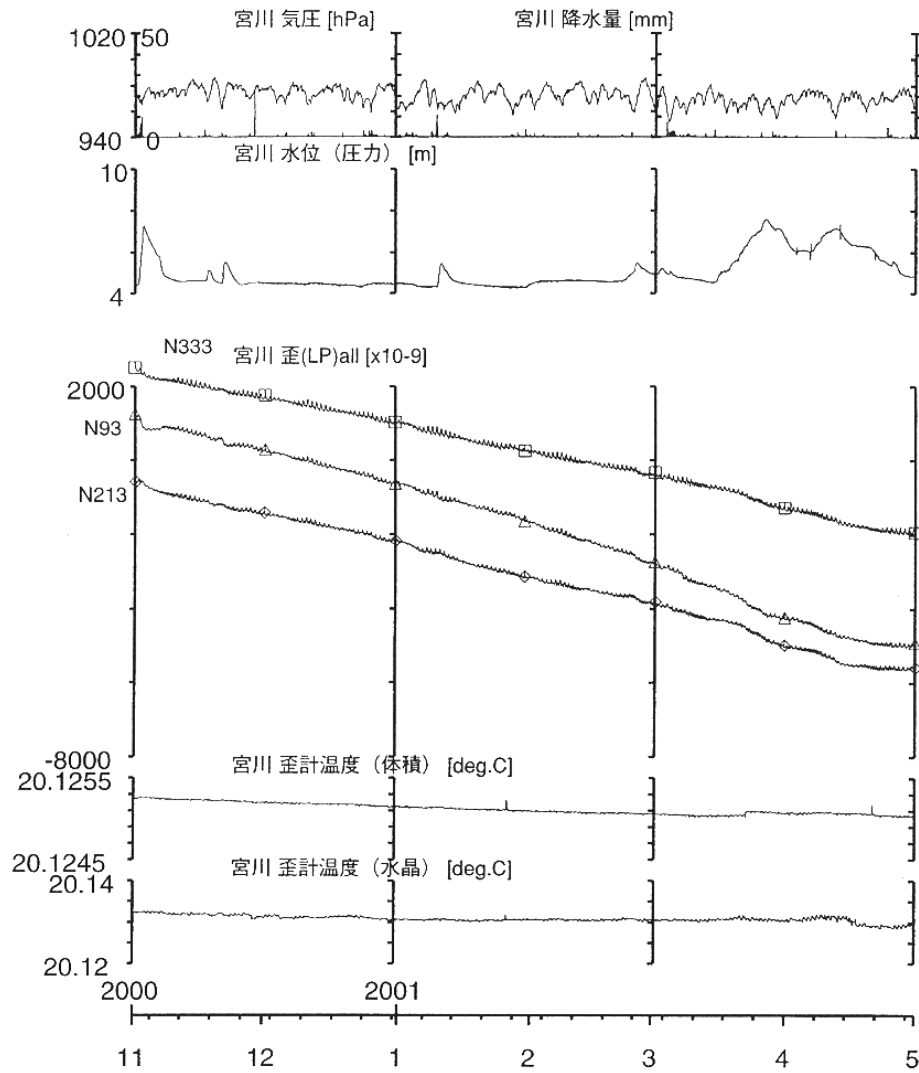
跡津川(第3図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2000年12月始めからの水位異常低下 坑道内近傍施設での揚水による。2001年3月下旬から水位上昇となり, ほぼもとの水位に回復した。3月下旬は例年水位が上昇しており, 雪解けの影響と考えられる。水位の減少, 上昇に伴い, 歪み計も大きく変化した。
(伊藤久男, 桑原保人, 今西和俊)



第1図 長野県西部地域・王滝地域，跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

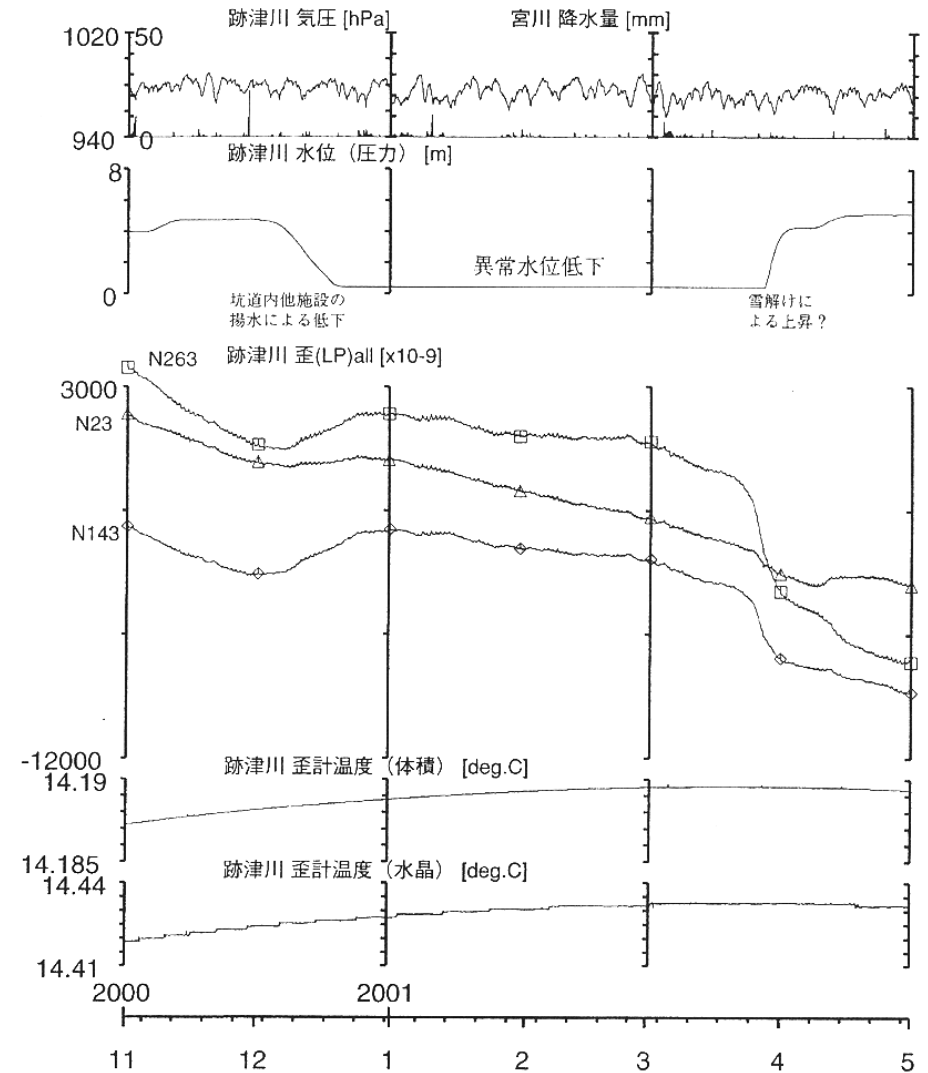
Fig.1 Location map of the observation boreholes at Ohtaki in Naganoken-Sebu region, Miyagawa and Atotsugawa at the Atotsugawa fault.

宮川歪等観測結果 (時間値)
(2000/11/01 00:00 - 2001/05/01 00:00)



第2図 宮川における歪観測結果 (6カ月間)
Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果 (時間値)
(2000/11/01 00:00 - 2001/05/01 00:00)



第3図 跡津川における歪観測結果 (6カ月間)
Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).